

◆◆◆仙台市人事委員会メールマガジン ～働く自分をイメージしよう！～ 2023/11/17◆◆◆

令和5年度職員採用試験 最終合格者（採用予定者）の皆さんへ

皆さんこんにちは！仙台市人事委員会事務局からメールマガジンをお送りします。

今回のメルマガでは、

◆先輩職員（事務職（社会人））インタビューをお届けします！

．．．．．
今回は、危機管理局減災推進課の細川 正寛さん（事務職入庁2年目、在課2年目）にお話を伺いました。

職種に関わらず参考になるお話があると思いますので、是非最後までご覧ください。

Q 1. 現在の職場の職員構成（人数や職種の割合など）を教えてください。

職員構成は事務職 13 名（うち会計年度任用職員 4 名）、消防局併任職員 4 名の計 17 名です。

Q 2. 現在携わっている事業（業務）の内容を教えてください。

2011 年 3 月に発生した東日本大震災では、JR 仙台駅等において交通手段の途絶により自宅へ帰ることができない、いわゆる帰宅困難者が多数発生しました。現在私は、その対策事業の一環として、官民で組織する帰宅困難者対策連絡協議会の事務局運営や、地震を想定した対応訓練の企画・開催等を担当しています。

Q 3. 始業から退庁までの一日の仕事の流れを教えてください。

～ 8:25 出勤
8:30～ 9:00 メールチェック
9:00～10:00 事務作業・電話対応
10:00～12:00 協議会委員との打合せ
12:00～13:00 昼休憩
13:00～16:00 課内での打合せ・現場作業等
16:00～17:15 資料作成、翌日の準備
17:15 退庁（概ね定時退庁できるケースが多いです）

Q 4. 仕事にやりがいを感じるのはどんな時ですか。

担当業務を通じて専門的な知識や考え方を学んだり、通常では得られないような経験ができることに楽しさを感じます。また、自分が深く関わったイベント等が予定通り開催され、参加者から反響をいただいた際には達成感があります。

Q 5. 職場デビューしてから 1～2 週間の職場での様子を教えてください。

入庁直後は前任者から業務の引き継ぎを受け、それに付随する基本的な事務等を教わりました。とはいえ最初の頃は、新たな職場の雰囲気やお作法に慣れたり、専門知識や同僚の顔

と名前を覚えたりすることで精いっぱいでした。

Q 6. 実際に働いてみて、入庁前に抱いていたイメージと違うと驚いたことはありますか。

配属先によって全く異なる業務を行っているうえ、いざ配属された先でも専門知識が必要とされる業務から力仕事まで、なんでも幅広くこなさなければならないところに驚きました。

また、年次休暇が取得しやすく、仕事とプライベートの時間をはっきり区別して両立している職員が多い印象を受けました。

Q 7. 合格してから入庁するまでの間、どのように過ごしていましたか。また、その時期にやっておくといいこと、やっておけばよかったと思うことはありますか。

8月の合格発表以降、翌年2月末まで前職の民間企業に勤務し、4月に入庁しました。今振り返ってみれば、まとまった余暇時間が得られる絶好のチャンスでもあり、早めに退職して、2～3か月ほど放浪の旅に出ても良かったなあと思っています。入庁前の1か月間は引っ越しや各種手続きなどで、意外にも多忙だった印象があります。

Q 8. 最後に、合格者へのメッセージをお願いします。

合格おめでとうございます。

入庁するまで、さまざまな不安があると思いますが、職場には頼りになる諸先輩方がたくさんおられますので心配はいりません。

プライベートでのトラブルにはくれぐれも気を付けて、入庁までの時間を謳歌してください。皆さんと一緒に働けることを楽しみにしています。

.....
※このメールは、令和5年度職員採用試験に最終合格した方で、メールアドレスを登録いただいた方に配信しています。